

環境施策

I 循環型社会形成（生活環境）



【主な取組】

- **マテリアルリサイクルの推進**
 - ・ 笠岡市ごみ大百科(ごみ分別の手引き), 出前講座などによる啓発とともに, ごみ分別アプリを導入し幅広い世代で分別への取組を推進します。
- **ごみの適正処理の推進**
 - ・ 地域の状況にあわせ頻度や収集運搬体制を見直します。
 - ・ 補助金交付と防護ネット無償貸与を継続し, ごみステーションの適正管理を推進します。

iPhone用 Android用

笠岡市ごみ分別アプリ

● 4R

レジ袋いりません

Refuse 発生回避 Reduce 排出抑制 Reuse 再利用 Recycle 再資源化

● 生ごみ3キリ運動

食材を使いきろう 料理を食べきろう 生ごみの水切り

生ごみの約8割は水分

・ 家庭ごみ, 事業ごみの減量化や分別の徹底	<p>実践しよう!</p>	・ ポイ捨てや不法投棄禁止の徹底
・ 4Rの取組を実践		・ 公共の場でのごみ持ち帰りマナーの向上
・ 食品ロスの削減		

II 脱炭素（地球環境）



【主な取組】

- **省エネルギー設備, 再生可能エネルギーの導入**
 - ・ 市有地や公共施設等へ再生可能エネルギー導入に努めます。
 - ・ 廃棄物や排熱など未利用エネルギーの利用を促進します。
- **脱炭素に向けた(低炭素型)ライフスタイル等への転換**
 - ・ クールビズ・ウォームビズ, 緑のカーテンの実践により省エネルギーを促進します。
 - ・ ノーマイカーデー, エコドライブの実践と市民・事業者への促進により排ガス抑制を図ります。

● クールチョイス

地球温暖化対策のための国民運動
「クールチョイス(=賢い選択)」

CO₂削減(脱炭素社会実現)に向けた
アクション・キャンペーンの例

・ 太陽熱温水器, 太陽光発電, 電気自動車などの導入	<p>実践しよう!</p>	・ 省エネルギー性能の高い製品や移動手段の選択
・ 省エネルギー・高効率な建築物, 設備等の導入		・ 規則正しい食生活や運動による熱中症予防
・ ノーマイカーデー, エコドライブによる排気ガスの削減		

III 自然共生（自然環境）



【主な取組】

- **自然環境, 希少生物等の保護・保全**
 - ・ 関係機関と連携し希少動植物の情報収集と保護に取り組みます。
 - ・ カブトガニが自然な繁殖力を取り戻すまで, カブトガニ保護の活動を継続していきます。
- **鳥獣被害対策・外来生物対策**
 - ・ 猟友会や地域の団体と連携し, 効率的・効果的な鳥獣被害対策として早急な被害の把握と駆除対策を講じます。
- **環境教育・環境学習の推進**
 - ・ 多様な生態系を保全し, 豊かな自然環境を創る環境教育を推進します。

● **カブトガニの保護**

笠岡市では, カブトガニの保護活動を行っています。

笠岡市立カブトガニ博物館

・ 生物多様性, 自然環境の維持・保全への協力	<p>実践しよう!</p>	・ 河川・海岸等の清掃, 美化活動に参加・協力
・ 有害鳥獣等の情報提供・捕獲等に協力		・ 自然とふれあう研修・イベント等に参加
・ 森林の保全・育成に協力		

IV 安全・安心・快適（快適環境）



【主な取組】

- **大気汚染・水質汚濁の防止**
 - ・ 測定結果を公表します。
 - ・ 事業所に排出基準, 環境基準の遵守を指導します。
 - ・ 笠岡市では, 図に示す場所で大気・水質を調査し測定結果を公表します。
- **道路・交通環境の整備**
 - ・ 路線バスや航路の維持のため, 利用ニーズを勘案しながら利便性向上・利用促進を図ります。

笠岡市の環境保全(令和4年度版)

・ 排出基準, 環境基準の遵守	<p>実践しよう!</p>	・ 公園・緑地施設の正しい利用
・ 不法な野外焼却禁止の徹底		・ 歴史文化的景観を守り親しみ, 次世代へ継承
・ 事業活動などから排出される有害物質の適正処理		・ 積極的な公共交通の利用

◎ 主な指標

I 循環型社会形成（生活環境）

指標名	R3 実績値	前計画 R4 目標値	R9 目標値	R14 目標値
1人1日当たりごみ排出量 [g/人・日]	—	857	804	804
生ごみ処理容器購入補助件数 [件]	64	105	110	110
笠岡市ごみ分別アプリダウンロード件数（累計） [件]	—	600	800	1,000

II 脱炭素（地球環境）

指標名	R3 実績値	前計画 R4 目標値	R9 目標値	R14 目標値
市役所・一部事務組合の温室効果ガス(CO ₂)削減率（平成26年度比） [%]	24.9	9.5	30.0	35.0
笠岡市・一部事務組合使用電力量 [MWh]	20,778	19,203	18,000	17,000
スマートエネルギー導入補助件数 [件]	47	50	50	50

III 自然共生（自然環境）

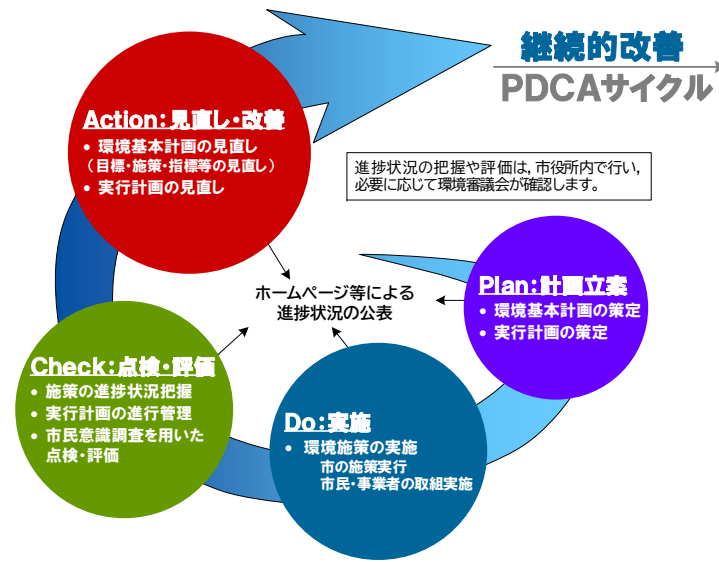
指標名	R3 実績値	前計画 R4 目標値	R9 目標値	R14 目標値
カブトガニ保護啓発活動参加者数 [人]	75	870	1,000	1,000
リフレッシュ瀬戸内（海岸清掃）参加者数 [人]	745	755	1,000	1,000
ごみゼロ運動参加者数 [人]	—	200	250	300

IV 安全・安心・快適（快適環境）

指標名	R3 実績値	前計画 R4 目標値	R9 目標値	R14 目標値
大気環境基準達成率 [%]	72.7	75	75	75
海域・河川COD, BODの環境適合率 [%]	—	64.3	70.0	70.0
地域公共交通の利用者数 [人]	—	1,734	1,740	1,740

◎ 計画の進行管理

本計画の進行管理は、P（Plan：計画）—D（Do：実施）—C（Check：点検・評価）—A（Action：見直し・改善）の繰り返しにより継続的に行います（PDCAサイクル）。計画の進捗状況の把握や評価については、指標に掲げた数値目標の達成状況や市民意識調査の満足度に対する回答等から判断し、必要に応じて「笠岡市環境審議会」が確認を行います。



第3次笠岡市環境基本計画 概要版 発行者 笠岡市市民生活部環境課

〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡 2369-14

TEL 0865-62-3805 FAX 0865-62-3904 e-mail kankyou@city.kasaoka.lg.jp

通常版



第3次笠岡市環境基本計画【概要版】

計画期間：令和5年度（2023年度）～令和14年度（2032年度）

◎ 望ましい環境像

自然豊かで安心して暮らせるまち “かさおか”

◎ 環境目標

循環型社会形成（生活環境）

ごみの適正処理や4R※により資源の有効利用を図り循環型のまちをめざします。市民一人ひとりが環境についての意識を高め、市・市民・事業者が協働で良好な環境づくりを推進していくまちを目指します。

※ 循環型社会の形成を目指す取組を示すキーワードで、次の4つの単語の頭文字をとった言葉。リフューズ (Refuse) 「断る」、リデュース (Reduce) 「減らす」、リユース (Reuse) 「再利用する」、リサイクル (Recycle) 「再資源化する」。



脱炭素（地球環境）

環境にやさしい活動を通じて市民の環境保全への関心を高め、二酸化炭素排出量の削減等に努めます。さらに、太陽光発電等の再生可能エネルギーのさらなる利活用に向けて市民のくらしや産業活動を先導し、地球温暖化等の環境問題に取り組む市民が多く暮らすまちを目指します。



自然共生（自然環境）

市民が暮らしやすい自然にするために、多様な生物の生息地となる水田、河川、里山、干潟等を保全するとともに、自然に向き合い自然と人が共生するまちを目指します。



安全・安心・快適（快適環境）

大気、水、騒音等の身近な環境が良好な状態に保たれ、健康に暮らせるとともに、公園・緑地・道路環境の整備を行い安心して暮らせるまちを目指します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGs(Sustainable Development Goals):持続可能な開発目標

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

本計画では、個別施策ごとに、SDGsとの関連性を示しています。